高圧ガス販売事業届書類

 （一般高圧ガス関係）

 １ 申請書様式

「一般則　様式２１（第３７条関係）」

 ２ 販売計画書

　　　　　　別添の「販売計画書（一般則）」のとおり

 ３ 引渡し先台帳（見本）

 　　・必要記載事項

 販売先の名称及び所在地

 販売先の保安責任者又は販売主任者の氏名

 販売するガスの種類（消費者へ販売する場合は消費の方法も含む）

　　　４　容器授受記録簿（見本）

　　　　　・必要記載事項

 充填容器の記号及び番号

 充填容器ごとの高圧ガスの種類及び充填圧力又は充填質量

 授受先及び授受年月日

５ 高圧ガス保安法遵守状況適合表

 別添の「高圧ガス保安法遵守状況適合表（一般則）」

必要に応じて添付書類有り。

 ６ 法人の場合にあっては登記簿謄本及び定款

 ７ 申請者が個人である場合は、本人を確認することができる書類

 ８ 販売所の位置及び付近の状況を示す図面

 ９ 容器置場の構造図

 １０ 販売主任者（一般則）選任届書（免状の写し、履歴書、雇用証明書）

　　　　　フルオロカーボンのみの販売は、販売主任者の選任の必要がありませんので、

　　　　販売主任者選任届書の提出の必要はありません。

様式第２１（第37条関係）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 高圧ガス販売事業届書 | 一般 | ×整理番号 |  |
| ×受理年月日 |  　　　　年 　月 　日 |
| 名　　称（販売所の名称を含む。） |  |
| 事務所（本社）所在地 |  |
| 販売所所在地 |  |
| 販売をする高圧ガスの種類 |  |
|  　　　　　　年　　月　　日 　　　　　　　　　　　　　　　　代表者　氏名　　　　　　　　　　　　 　石　川　県　知　事　殿 |
|  備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。 　　　２　×印の項は記載しないこと。　　　　 |

|  |
| --- |
| 販売計画書（一般則） |
| 販売の目的（※） |  |
| 事務所所在地 |  |
| 販売所所在地 |  |
| 容器置場所在地 | (第一種貯蔵所、第二種貯蔵所、その他貯蔵所) |
| 販売する高圧ガスの種類 | (可燃性ガス、毒性ガス、支燃性ガス、不活性ガス、特定不活性ガス、液化ガス) |
| その他貯蔵所詳細 | 容器置場の床面積 |  間口 ｍ × 奥行 ｍ ＝ 床面積 ㎡内訳 充てん容器 ㎡、残ガス容器 ㎡ |
| ガスの最大貯蔵量 | 充てん容器(容量: )× 本、残ガス容器 本 最大貯蔵量 ｍ３(ｋｇ) |
| 火気との距離 |  |
| 容器を温度40℃以下に保つ措置 |  |
| 転落・転倒防止措置 |  |
| ガスの購入先 |  |

※ 販売の目的の欄には、販売区域、供給先におけるガスの使用目的、供給先の数等を記載すること。 引渡し先台帳（見本１）

 　　　　　　 （小売業者用）

消費者保安台帳

|  |  |
| --- | --- |
| 消費者名称 |  |
| 消費者所在地 | （Tel.　　　　　　　　　　　） |
| 保安責任者氏名 |  |
| ガスの種類、用途及び消費の方法 | ガスの種類 | 用途 | 消費の方法 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 配置略図（※）  |
| 備　考 |  |

※ ガスの消費場所が消費者所在地と異なる場合は、ガスの消費場所の所在地を記載する。

引渡し先台帳（見本２）

 　　　 （卸売業者用）

販売所保安台帳

|  |  |
| --- | --- |
| 販売所名称 |  |
| 販売所所在地 | （Tel.　　　　　　　　　　　） |
| 販売事業届出（許可）年月日 | 年　　月　　日　　　　　　都 道 府 県 届出（許可） |
| 販売主任者氏名 |  |
| 販売所へ販売するガスの種類 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 容器置場略図 （面積 ㎡）  |
| 備　考 |  |

引渡し先台帳（見本３）

 　　　 （小売業者・卸売業者共通）

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月　日 | 保　安　に　関　す　る　事　項 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

容器授受記録簿（見本）

　　　　年度

容器授受記録簿

ガスの種類：　　　　　容器の種類：　　　　　充填圧力/質量：　 MPa/kg

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 充填容器 | 仕入先 | 販売先 | 返却先 |
| 記号 | 番号 | 年月日 | 名称 | 年月日 | 名称 | 年月日 | 名称 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

高圧ガス保安法遵守状況適合表（一般則）　　　　　　　　　　　　　販売所名：

一般高圧ガス保安規則４０条第１項の技術上の基準に対応する事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 条項 | 内　　容 | 対応事項（該当するものに○を付すこと） | 添付資料 |
| １号 | 保安台帳の整備 |  | 高圧ガスの引渡し先の保安状況を明記した台帳を整備します。 | **別添** |
| ２号 | 充てん容器の引渡し |  | 充てん容器の引渡しは外面に容器の使用上支障のある腐食、割れ、すじ等がなく、かつ当該ガスが漏洩していないものをもって行います。 |  |
| ３号 | 圧縮天然ガス充てん容器の引渡し |  | 容器検査期間を6ヶ月以上経過しているものを引渡ししません。 |  |
|  | 圧縮天然ガスを販売しません。 |
| ４号 | 圧縮天然ガスの販売（燃料用） |  | 圧縮天然ガスの消費設備が基準に合致していることを確認した後販売を行います。 |  |
|  | 圧縮天然ガスを販売しません。 |
| ５号 | 圧縮天然ガスの販売時における配管の気密試験用設備 |  | 必要な機材を備えます。 |  |
|  | 圧縮天然ガスを販売しません。 |

一般高圧ガス保安規則１８条の技術上の基準に対応する事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 条項 | 内　　容 | 対応事項（該当するものに○を付すこと） | 添付資料 |
| １号 | 貯槽により保存する場合の技術上の基準 |  | 以下の措置を講じています。 |  |
|  | 貯槽による貯蔵を行いません。 |
| イ | 可燃性・毒性ガスの貯蔵 |  | 通風の良い場所に設置された貯槽で行います。 |  |
|  | 可燃性・毒性ガスは貯蔵しません |
| ロ | 貯槽の周囲 |  | ２ｍ以内の火気の使用を禁止し、かつ、引火性・発火性の物を置きません。 |  |
| ハ | 液化ガスの貯蔵 |  | 貯槽の常用温度における内容積の90％以内とします。 |  |
| ニ | 貯槽の修理・清掃・その後の使用 |  | 修理等を行う際は作業計画や責任者を定め、計画に従い責任者の監督の下で行います。 |  |
|  | 可燃性・毒性ガス・特定不活性ガス・酸素の貯槽の修理等では危険防止措置を講じます。 |
|  | 修理等のため貯槽を開放する場合は危険防止措置を講じます。 |
|  | 貯槽を開放して修理する場合はガス漏えい防止措置を講じます。 |
|  | 修理等終了後は漏えいのないことを確認します。 |
| ホ | 貯槽の沈下状態を測定するための措置 |  | 貯槽の沈下状態を測定するための措置を講じます。 |  |
| ヘ | 貯槽及びその配管のバルブの操作 |  | バルブを操作する場合、過大な力を加えないような措置を講じます。 |  |
| ２号 | 容器により保存する場合の技術上の基準 |  | 以下の措置を講じています。 |  |
|  | 容器による貯蔵を行いません。 |
| イ | 可燃性・毒性ガスの貯蔵 |  | 通風の良い場所に設置された場所を確保します。 |  |
| ロ | 第６条第２項第８号の基準に適合すること |  | 容器は充てん置場、残ガス置場に区分して置きます。 |  |
|  | 可燃性ガス、毒性ガス、特定不活性ガス、酸素はそれぞれ区分して置きます。 |
|  | 容器置場には作業上必要な物以外の物を置きません。 |
|  | ２ｍ以内の火気の使用を禁止し、かつ、引火性・発火性の物を置きません。 |
|  | 容器は常に40℃以下に保ちます。 |
|  | 容器の転落・転倒防止措置を講じ、かつ、粗暴な扱いをしません。 |
|  | 可燃性ガスの容器置場は携帯電灯以外の燈火を携えて立ち入りません。 |
| ハ | シアン化水素の貯蔵 |  | １日１回以上ガス漏えいがないか確認します。 |  |
|  | シアン化水素は貯蔵しません。 |
| ニ | シアン化水素の貯蔵 |  | 容器に充てんした後60日を超えないものを貯蔵します。 |  |
|  | シアン化水素は貯蔵しません。 |
| ホ | 貯蔵場所について |  | 船、車両、若しくは鉄道車両に固定、積載したままで貯蔵しません。 |  |
| ヘ | 一般複合容器等の貯蔵 |  | 刻印等において示された年月から15年経過したものを貯蔵に使用しません。 |  |
|  | 一般複合容器等で貯蔵しません。 |
| ３号 | 高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器での貯蔵 |  | 刻印等において示された年月から15年経過したものを貯蔵に使用しません。 |  |
|  | 高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器で貯蔵しません。 |